

4 夜間や休日にお子さんの具合が悪くなったとき

夜間や休日にお子さんの具合が悪くなったときは、あわてずに症状をみながら、適切な対応や手当てを行いましょう。

お子さんの気になる症状の対応と手当て

	お子さんの症状	お医者さんに伝えること	自宅での手当て、注意点	
発熱	<ul style="list-style-type: none"> ● 生後3か月未満である ● 無表情で活気がない ● 1日中ウトウトしている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 元気がある ● おしっこが出ている ● あやすと笑う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「いつから」「何℃の熱が」「どのくらい」続いているか？ ● 何かお薬を飲ませたか？ 飲ませた場合、お薬の説明書を持っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ● 暑そうなら涼しく、寒そうなら温かく、ねまきやふとんを調整してあげる。 ● 脱水を起こさないよう、水分補給(乳幼児用イオン飲料など)をこまめにする。 ● 解熱剤を使う場合はアスピリン、ポンタール、ボルタレンは使用しない。
ひきつけ(けいれん)	<ul style="list-style-type: none"> ★意識が戻らない ★唇の紫色が続いている ★何度もけいれんを繰り返している ● 生後6か月未満 ● 初めてのけいれんである ● 体温が38℃以下であった ● けいれんに左右差がある ● 最近頭を激しく打った ● けいれんかどうかわからない 		<ul style="list-style-type: none"> ● 「いつから」「どんなけいれんが」「どのくらい」続いているか？ ● けいれんに右半身、左半身だけのような左右差があるか？ ● けいれんがみられたときの体温は何度であったか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応急処置 <ul style="list-style-type: none"> 揺すらない 抱きしめない 衣服をゆるめる 顔を横向きに ● おさまったあと、意識が戻ったか確認する。 ● 口に物をくわえさせてはいけません。
嘔吐・下痢・腹痛	<ul style="list-style-type: none"> ● 生後3か月未満である ● 何度も繰り返し吐く ● 腹痛が強い ● 唇が乾いている ● うんちに血液が混じった ● 血液、コーヒの残りがすのようなもの、胆汁(緑色の液体)を吐いた ● 陰のうや股の付け根を痛がる ● お腹を激しくぶつけた ● お腹がばんばんに腫れている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 元気がある ● 機嫌は悪くない ● おしっこが出ている ● 腹痛が2~3日続いている ● 数日便が出ていない ● 排便したら痛みが和らいだ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「いつから」「何回」「どのようなもの(色や臭い)」を吐いていたか？ ● オムツを何回替えたか？ 何回おしっこに行ったか？ ● 痛みはどのくらい続いているか？ ● 1日の排便回数とうんちの状態 	<ul style="list-style-type: none"> ● 吐いたものがのどにつまらないように、横を向いて寝かせる。 ● どんなものを吐いたか確認する。 ● 乳幼児用イオン飲料を少しずつ頻繁にあげる。 ● 離乳食はいったんやめる。 ● 排便回数とうんちの状態を確認し、お尻を清潔に保つ。
咳・せいせい	<ul style="list-style-type: none"> ★唇の色が紫色をしている ● 苦しそうにしている ● ぜいぜいする直前、口に物をくわえていた ● 声がかすれてほとんど聞こえない、話ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 元気がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気管支が弱い(喘息気味)と言われたことがあるか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人用に処方された手持ちの薬があれば、それを投与して様子を見る。
	<p>すぐ医療機関へ!</p> <p>自家用車やタクシーなどですぐに医療機関へ行きましょう(★印の場合は特に急いで行きましょう)</p> 	<p>かかりつけ医を受診する</p> <p>自宅で様子を見ながら診療時間まで待ち、かかりつけ医を受診しましょう</p> 	<p>様子を見る</p> <p>自宅で手当てをしながら様子を見て、症状が大きくなった場合受診しましょう</p> 	